

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：医療整備課
 担当名：医師確保対策担当
 内線：3546

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業
B19	地域医療教育センター（仮称）準備・運営費			一般会計	衛生費	医薬費	医薬総務費	医師確保対策費
事業期間	平成28年度～	根拠法令	なし			戦略項目	03 医療の安心	
						分野施策	010303 医師・看護師確保対策の推進	
1 事業の概要 さいたま新都心医療拠点の県立小児医療センターに付加機能として地域医療教育センターを設置・運営する。 (1) 地域医療教育センター（仮称）教育・研修用機器整備経費 機器調達のための入札等により落札差金が生じた事に伴う備品購入費の減 △15,684千円 (2) 地域医療教育センター（仮称）設置・運営経費 備品調達のための入札等により落札差金が生じた事等に伴う備品購入費等の減 △18,564千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 地域医療教育センター（仮称）教育・研修用機器整備経費 54,735千円 さいたま新都心医療拠点の県立小児医療センターに付加機能として設置する地域医療教育センターで、医師や看護師をはじめとする医療職向けの研修などを行うために必要なシミュレータの購入経費 イ 地域医療教育センター（仮称）設置・運営経費 52,326千円 さいたま新都心医療拠点の県立小児医療センターに付加機能として地域医療教育センターを設置し、医師や看護師をはじめとする医療職向けの研修などを行うために必要な各種運営経費や、小児医療センターが一括契約する水道光熱費や各種委託契約に対する負担金 (2) 事業計画 平成28年度 小児医療センター新病院完成。本県で特に医師が不足している小児科、救急科等の研修に使用するシミュレータの購入を中心にセンターを整備。 平成29年1月から暫定的に開業。 平成29年度 教育の基本方針（3つの柱）「人材育成」「多職種連携」「地域医療」に沿ってシミュレータを購入。 センターが本格的に稼働。 (3) 事業効果 シミュレーション機器を活用した医療技術の研修等を行うことで、県内の医療人材の医療技術が向上すると共に、研修体制を充実させることで医師の県内誘導が進み、医師の確保が図られる。 (4) その他 ア 県立小児医療センター新病院の8階に設置。専有面積約1,422㎡ イ 医師、看護師をはじめとする医療職全般に対する研修機会実施のため、シミュレーション機器を備えた研修室や診察シミュレーション室などを設置する。				
2 事業主体及び負担区分 (1) (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円								
				財 源 内 訳				
予算額		諸収入	県債				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△34,248		△12,000				△22,248	72,813
現計額	107,061	434	34,000				72,627	